



広報

さつま 2014 1

ひと・自然 元気がやぐ さつま町



三二門松作り



宮之城伝統工芸センター

- 02 町長、議長新年のごあいさつ
- 04 さつま町の学校規模適正化
- 06 平成24年度決算状況
- 08 水道事業会計決算状況
- 09 高齢者等見守り活動事業スタート
- 10 町政座談会開催
- 12 まちのニュース
- 20 まちの歴史探訪 保健師だより
- 21 シリーズ 子どもたちが元気！ 学校が元気！
- 22 暮らしの情報
- 24 お便り紹介
- 27 誕生・おくやみ 1歳で～す
- 28 人・夢 休日在宅医・薬局

■表紙の写真説明

ミニ門松作り



12月20日、宮之城伝統工芸センターで毎年恒例のミニ門松作りが行われました。この日作業に参加したのは6人。後日、飾りつけを行い、200組の門松が完成しました。大変人気があり、町内をはじめ県外からも申し込みがありました。

さつま町長

日高 政勝



『夢と希望の持てる元気なまちづくり』に取り組んでまいります

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、新春を健やかに迎えることと、謹んでお喜び申し上げます。昨年は、皆様からの温かいご支援のもと町長2期目のスタートをさせていただきましたことができました。今後なお一層、誠心誠意・全身全霊を捧げて町政発展のために努力してまいります。

本町におきましては、薩摩中央家畜市場における和牛子牛価格が全国最高水準のセリ値を記録し、また肉用牛枝肉共励会においても、「九州一・全国一」の栄誉に輝くなど、「さつま牛」ブランド確立へ大きく前進する明るい話題をはじめ、町内産素材にこだわった名物料理「黒毛和牛たけのこ丼」や「じょじょん鍋」の開発、薩摩西郷梅を使った加工食品のコンクール開催など、基幹産業である農林業と商工業の連携による6次産業化など新たな挑戦も始まりました。

このほか、メガソーラー発電施設として旧宮之城中学校跡地や薩摩工業団地などの活用、住宅用太陽光発電システム設

置や危険廃屋解体撤去に対する補助事業の継続的取組や住宅リフォーム制度の創設、予防接種費用の助成拡大や本年1月から中学生までの子ども医療費無料化をスタートするなど、遊休地活用とエネルギー問題・地域経済の活性化・子育て支援など地域が抱える重要な諸課題へも積極的に取組を進めてまいりました。

「健康づくり推進の町」の取組の一つである特定健診受診率については、目標の65%を大きくクリアする県内トップクラスの70.4%を達成しました。

また、更なる町民サービスの向上と、町民の皆様の安全・安心を司る拠点施設としての本庁舎建設は、順調に工事が進み本年2月下旬には移転及び仮開庁できる運びとなりました。本年10月の本開庁をめざし、旧庁舎の解体や駐車場整備等の外構工事など進めてまいります。

一方、鶴田ダム再開発事業は、当初計画の平成27年度完成から2年延長、事業規模も711億円へ拡大、地域高規格道路北薩空港幹線道路は早期完成をめざし

工事が進捗し、県立北薩広域公園も歴史ゾーンの基本計画づくりが始まるなど、国・県における大規模事業推進も図られて、将来への発展ポテンシャルが整いつつあります。

このような中、今月から再開される環太平洋経済連携協定（TPP）問題については、本町農業振興に大きな影響が予測されるため、最大の関心事として動向を注視し、また、米の転作廃止や日本型直接支払制度・農地中間管理機構など農政の一大転換策が講じられるため、これらに適切に対処していかなければならない年と肝に銘じています。

変化する時代の潮流を的確に読み、決断し、スピーディーに実行する行政運営に努め、職員と一丸となって『夢と希望の持てる元気なまちづくり』に取り組んでまいります。

本年が皆様にとりまして素晴らしい年でありますよう心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

謹賀新年 新年のごあいさつ



町民の方々の視点から政策立案、政策提言でできる議会づくりにも努めます

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、心も新たに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、町政の推進と町議会活動に対し、町民の皆様の温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

議会におきましては、昨年4月の選挙によりまして、議員定数を20人から16人に削減、常任委員会を三委員会から二委員会に改編し、新たな議会構成のもと、改めて町民の代表者という原点に立ち、各定例議会、決算特別委員会、行財政改革対策調査特別委員会において審議を行い、町民の声が町政に的確に反映されるよう取り組んでまいりました。

国におきましては、一昨年の衆議院選挙において自民党に政権が代わり安倍新内閣が誕生し、政策の最大目標を経済回

切であると思います。

私たちの町は、少子高齢化・人口減少が依然として続くなかで、福祉・健康・教育・商工業の業績の回復など、多くの課題があります。

私たち議会は、議会報告会や日常の議員活動を通して皆様の様々なご意見をお聴きし、町民の方々の視点から政策立案、政策提言でできる議会づくりになお一層努力し、町民に身近で存在感のある議会となるよう、さらに議会改革に取り組んでまいります。

本年も、町議会に対する更なるご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、平成26年が皆様にとりまして、幸多い輝かしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

さつま議会議長

舟倉 武則



学校規模適正化

町では、将来を担う児童・生徒の一人ひとりの豊かな将来を願い、夢に向かって生き生きと学ぶことができる教育環境を目指し、平成23年6月にさつま町立小・中学校適正化基本計画（案）を策定し説明を行いました。そこで出された意見・要望や議会等の意見を踏まえ、今回「見直し案」を策定しました。

●学校の現状

小学校

さつま町の小学生は、平成元年度には2,113人でしたが、平成25年度は1,114人と999人（47.3%）減少しています。学校全体の学級数が3クラスの完全複式学級の学校が2校、それ以外に学校全体で4クラスや5クラスの複式学級の学校が7校で、小学校14校のうち半数以上は複

中学校

式学級を持つ学校となっています。中学生も小学生と同様に平成元年度には1,145人でしたが、平成25年度は579人と566人（49.4%）減少しています。4校のうち2校は各学年が1クラスですが、他の1校も近いうちに1学年1クラスの学校になることが見込まれています。

また、中学校では、教育活動の一貫として部活動にも取り組んでいます。少人数ではできる部活動の数も限られています。

●学校の運営面

教職員の数は、学級数を基準にして配置されるため、学級数が少ないと教職員の数が少なくなり、学校運営に支障があります。特に、中学校は教科担任制ですので、学級数が少ないと全ての教科に専門の先生を配置することができず、学校運営にかなりの工夫を必要とします。



●再編の基本方針

- ① 複式学級の解消
 - ② 1学年15人から20人程度を超える。
- 中学校
- ① 1町1中学校
 - ② 1学年複数学級

▼複式学級とは

1学年の人数が少ないため、二つの学年を1クラスにして編制される学級

▼複式学級となる基準(概要)

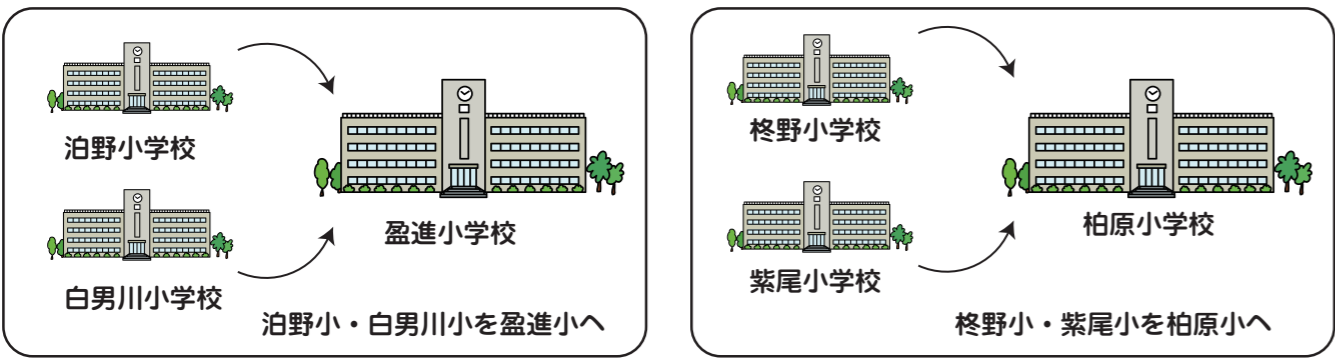
1年生を含む場合は、二つの学年で8人以下のとき1学級となります。1年生を含まない場合は二つの学年で16人以下のとき1学級となります。

▼複式学級の課題

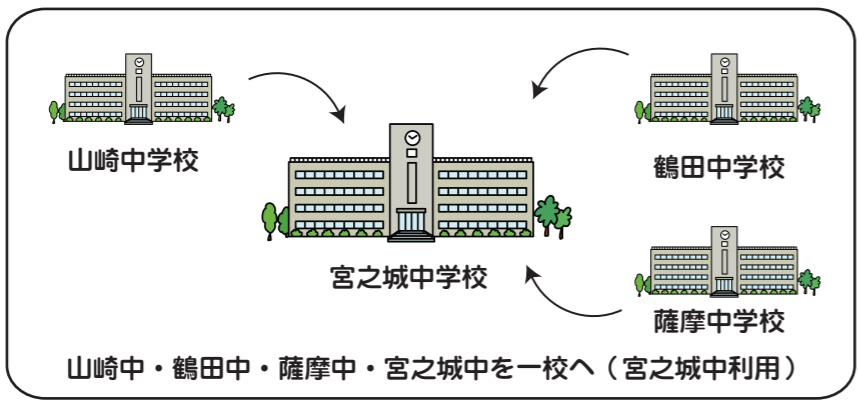
授業時間は1時間当たり45分で、単式学級の場合は全部の時間先生から直接授業を受けることができますが、複式学級の場合は一般的に概ね1学年当たり20分の直接授業と20分の間接授業(自習)となります。(5分は共通の時間)

小中学校適正化計画「見直し案」をお知らせします

第一次再編 小学校 平成28年4月開校



第一次再編 中学校 平成31年4月開校



【第二次再編（小学校）平成32年4月開校】

- 1 1学年10人未満で複式学級を持つ学校を対象として再編を推進する。
※平川小、流水小、求名小、永野小及び中津川小が対象として予想される。
- 2 第二次計画の具体的な内容は、平成28年度に検討する。

【再編に当たって配慮する事項】

再編計画対象以外の学校・地域から再編の要望が出された場合は、他の関係する再編対象校との関係も考慮し、できるだけその要望に沿うように努力する。

【通学方法】

- 1 通学手段
通学に利用できる民間路線バス及びコミュニティバス・乗合タクシーを優先して利用することを検討し、それらの利用が難しい場合はスクールバス運行を計画する。
- 2 費用負担
再編により新たに生じる通学費については、当面全額町負担とする。

教育委員会では、今回の見直し案について、8月からすべての区公民館及び単位PTAへ説明会を実施してきました。そこで出された意見について整理し、準備ができましたら町ホームページでお知らせいたします。

■お問い合わせ先 教育委員会総務課 総務係 ☎53-1111（内線2511）

町民一人当たりの決算額と主な内容

町民一人当たりに使ったお金は**61万2千円**です。

民生費	総務費	公債費
15万3千円	13万2千円	10万3千円
高齢者、障害者、児童などへの福祉関係 ■保育所運営費補助 ■障害福祉サービス ■子ども手当 ■高齢者への生活支援サービス ■後期高齢者医療、介護保険、国保	総務管理、税務、戸籍、選挙、統計、監査事務関係 ■町有財産の管理、庁舎建設 ■税の賦課・徴収、地籍調査 ■広報、安全安心、情報システム ■会計、地域振興、企業誘致 ■戸籍、選挙、統計、監査事務	これまでに実施した公共施設の整備などへ充てた借金の返済 
土木費	教育費	農林水産業費
5万4千円	4万7千円	4万6千円
道路橋りょう、河川、公園、住宅の整備関係 ■町道の維持管理・改良 ■河川の維持管理 ■公園の維持管理 ■町営住宅の維持管理・建築	小中学校や幼稚園、体育施設の管理運営、生涯学習、学校給食関係 ■小中学校管理費（耐震化、光熱水費、パソコン借上料など）、給食センター ■青少年育成、自治活動推進 ■図書館・条例公民館管理運営 ■文化活動、文化財保護	農業、畜産業、林業の振興や農道などの整備関係 ■中山間地域の振興、農産園芸 ■畜産業・水産業の振興 ■農地農業用施設整備、土地改良 ■町有林育成、林道、治山事業 ■有害鳥獣対策
衛生費	消防費	災害復旧費
3万4千円	2万1千円	1万円
ごみ、し尿の処理や健康増進事業関係 ■ごみ・し尿の収集運搬・処理業務 ■火葬場、町営墓地、環境保全 ■各種健診、予防接種、母子保健 ■口腔衛生、生活習慣病予防 ■健康増進、乳幼児医療	救急業務や消防業務関係 ■常備消防（消防署）の管理運営 ■非常備消防（消防団）の運営 ■消防ポンプ自動車 ■防火水槽、消火栓 ■災害対策、防災無線	災害復旧事業 ■農林水産施設（田・畑・農道・水路） ■土木施設（町道・河川） ■林道施設
議会費	商工費	
6千円	6千円	
議会の開催・運営関係 ■定例会（年4回）、臨時議会の開催 ■議員報酬	商工振興、物産観光関係 ■商工業、旅館業の振興 ■物産観光、観光交流の推進	

※金額は、一般会計歳入歳出決算書による歳出決算額を平成25年3月31日現在の住民基本台帳人口23,720人で除したものです。

平成24年度決算状況

～さつま町歳入歳出決算書（一般会計・特別会計）より～
一般会計歳出総額 145億636万9千円

◆決算状況◆

平成24年4月1日から平成25年3月31日までにのける一般会計及び特別会計の決算額は、次のとおりです。

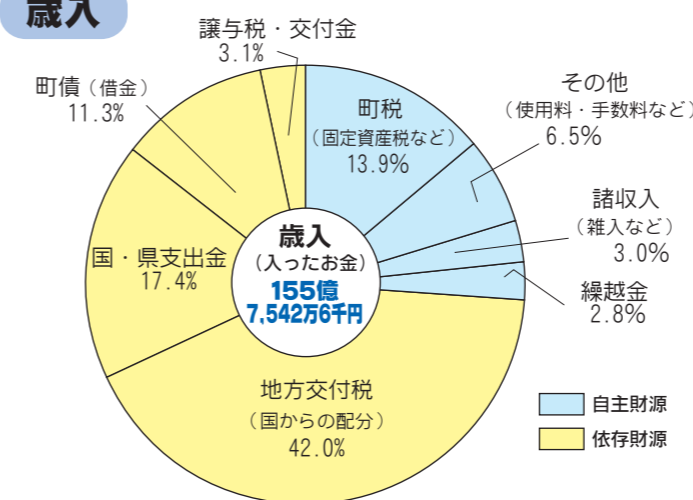
区分	歳入（収入）総額	歳出（支出）総額	差引額	
一般会計	155億7,542万6千円	145億6,366万9千円	10億6,905万7千円	
特別会計	国民健康保険事業	35億3,433万2千円	33億7,380万5千円	1億6,052万7千円
	後期高齢者医療	3億1,240万円	3億767万2千円	472万8千円
	介護保険事業	29億7,357万5千円	29億7,357万4千円	7,284万1千円
	介護サービス事業	2,192万7千円	2,173万5千円	19万2千円
	農業集落排水事業	5,078万8千円	4,446万円	632万8千円

◆一般会計歳入・歳出の費目別割合◆

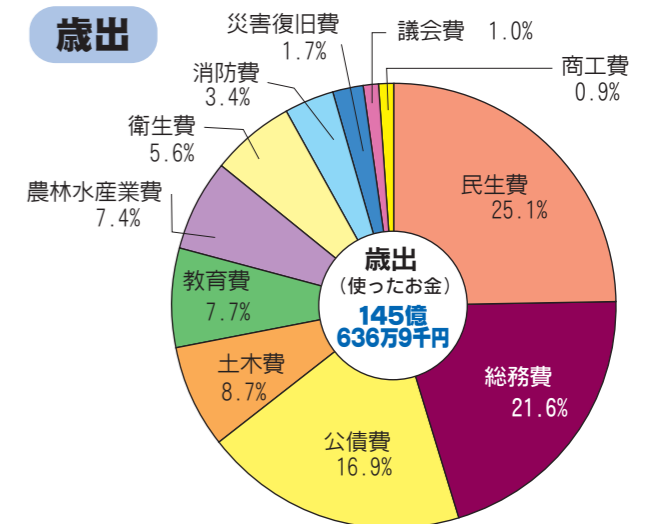
歳入（155億7,542万6千円）を費目別にみると、町税やその他（使用料及び手数料など）などの自主財源が26.2%（40億8,087万5千円）、地方交付税や国・県支出金などの依存財源が73.8%（114億9,455万1千円）となっています。

また、歳出（145億6,366万9千円）を費目別にみると、民生費（高齢者・障害者・児童などへの福祉関係）が25.1%と最も高く、次いで総務費（税務や戸籍関係）が21.6%、公債費（借金の返済）16.9%、土木費8.7%、教育費7.7%などとなっています。

歳入



歳出



歳入	費目	平成24年度決算額
町税	21億6,611万9千円	
その他	10億359万5千円	
諸収入	4億6,921万3千円	
繰越金	4億4,194万8千円	
自主財源計	40億8,087万5千円	
地方交付税	65億4,478万2千円	
国・県支出金	27億289万1千円	
町債	17億6,600万6千円	
譲与税・交付金	4億8,087万2千円	
依存財源計	114億9,455万1千円	
合計	155億7,542万6千円	

歳出	費目	平成24年度決算額
民生費	36億3,425万1千円	
総務費	31億3,913万2千円	
公債費	24億4,605万2千円	
土木費	12億6,830万8千円	
教育費	11億1,784万円	
農林水産業費	10億7,648万5千円	
衛生費	8億455万6千円	
消防費	4億9,755万9千円	
災害復旧費	2億4,496万5千円	
議会費	1億4,977万6千円	
商工費	1億2,744万5千円	
合計	145億636万9千円	

☆地方債残高（借金）163億5,936万8千円 前年度より4億5,666万円減少
 ☆基金残高（貯金）57億3,643万4千円 前年度より6億3,220万2千円増加

水道事業会計決算状況

水道料金が支える水道事業

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、皆様からいただいた水道料金を主な財源として、独立した会計で運営しています。

平成24年度の決算においては、上水道事業1、178万9千円、簡易水道事業2、177万6千円の当年度純利益となりました。快適で豊かな生活を提供するため、さらに充実を図ってまいります。

また、健全な運営と財政基盤の確立は、ひとえに皆様からいただいた水道料金によって確保されていくことから、水道事業に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

収益的収支…各家庭に給水するための費用とその収入
資本的収支…水道施設を整備・拡充するための経費とその財源

【上水道事業】 <収益的収支（経営状況）>

収入(140,849千円)		単位：千円	
水道料金	138,180	その他の収入	2,669
支出(129,060千円)			
営業費用等	46,785	減価償却費	42,837
職員給与	31,650	借入金利息	7,788
純利益	11,789		

<資本的収支（建設工事等）>

収入(15,839千円)		単位：千円	
負担金	8,039	企業債	7,800
損益勘定留保資金等		70,533	
支出(86,372千円)			
建設改良費	46,142	借入金償還金	40,230

【簡易水道事業】 <収益的収支（経営状況）>

収入(238,125千円)		単位：千円	
水道料金	211,341	補助金	24,185
その他の収入		2,599	
支出(216,349千円)			
営業費用等	77,915	減価償却費	75,226
職員給与	38,024	借入金利息	25,184
純利益	21,776		

<資本的収支（建設工事等）>

収入(100,645千円)		単位：千円	
負担金等	74,245	企業債	26,400
損益勘定留保資金・積立金等		96,683	
支出(197,328千円)			
建設改良費	40,542	借入金償還金	156,786

※資本的収入の不足分は、損益勘定留保資金（減価償却費などの現金支出を伴わない経費を蓄積した資金）及び積立金等で補てん

水道課からのごお願い



現在、町水道をご利用で転入・転出・転居をされる場合は、水道の手続きが必要となります。手続きの際は印鑑をお持ちのうえ、役場水道課又は、各支所までお越しください。

なお、新しく水道を使用される際は、開栓手数料（500円）が必要です。水道メーターは、使用水量を計測する大切なものです。検針がしやすいようにメーターボックス内はいつもきれいにし、またボックスの上に物を置いたり、近くに犬をつないだりしないようご協力ください。

水道の新設、修繕、改造工事等を行う場合は、町水道工事指定店にお問い合わせてください。

口座振替は水道料金の納め忘れがなく、便利です。預貯金通帳、お届出印鑑をお持ちのうえ、町内の金融機関・郵便局へ直接お申込みください。



現在、3か月分以上の水道料金未納がある場合は、給水停止を行う場合がありますので、早めに納入しましょう。

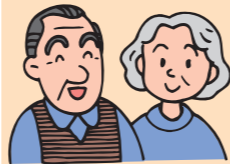
低温による水道管の凍結や破損などが発生しやすい季節です。むき出しの水道管や屋外の蛇口には、布切れや毛布を巻くなど対策をお願いします。

また、近所で凍結による漏水等を確認された場合は、町水道工事指定店か役場水道課までご連絡ください。

■お問い合わせ先
 水道課 管理係
 ☎(53)11111
 (内線2261)

見守り活動事業スタート

住み慣れた地域で高齢者等が安心して生活できる地域づくりを!!



■お問い合わせ先
 福祉課 高齢福祉係
 ☎(53)11111
 (内線2131)

●地域で見守る体制づくりを!

超高齢社会の到来に伴い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者夫婦だけの世帯など、援助を必要としている方が増加している中で、地域で見守り、支え合っていく体制、ネットワークづくりが最も重要です。

現在、町ではこのネットワークづくりを推進するために、民生委員・在宅福祉アドバイザーを中心に、地区役員・高齢者クラブ・女性部・青年組織等、多くの方々のご協力のもと見守り体制づくりを進めており、併せて、区公民館又は公民会に福祉(民生)部の設置をお願いしているところです。

●「さつま町高齢者等見守り活動事業」

町及び協力機関・団体並びに協力事業所が相互に連携して高齢者等の見守り体制をさらに強化するため、「高齢者等見守り活動事業」を展開します。

この事業は、日頃地域住民との付き合いが多い事業所等に、高齢者等への声かけ、安否確認をお願いし、ささいな異変に気づいたときに適切な対応をお願いしようとするものです。これにより、日常の業務活動の中で高齢者等の異変に気づいたときに、役場福祉課及び警察署並びに消防署に連絡・通報するネットワークが構築されることとなります。

【さつま町高齢者等見守り活動協力機関】

- ・さつま警察署
- ・さつま町消防本部
- ・さつま町社会福祉協議会
- ・さつま町民生委員児童委員協議会

【さつま町高齢者等見守り活動協力事業所】

- ・日本郵便(柳宮之城郵便局)
- ・九州電力(柳川内営業所)
- ・鹿児島県LPガス協会(川薩支部(町内事業所))
- ・南日本新聞宮之城販売所



事業所を代表して、日高町長より日本郵便柳宮之城郵便局の中村局長(左)へ登録証が交付されました。

■協力事業所へ登録証を交付

12月16日、町長室で、登録の申出があった7事業所へ登録証の交付式が行われました。今後においても、この見守り活動事業の趣旨に賛同してくださる事業所に協力をいただきながら、見守り体制の強化を図ります。

・(社)さつま町シルバー人材センター

・南日本新聞さつま販売所

・さつま町水道事業

新規認定農業者の紹介

(平成25年11月22日認定)

11月22日、町長室で、2経営体が認定農業者に認定され、農業経営改善計画認定書の交付式が行われました。

本町の認定農業者数は、同日現在で個人経営体190、組織経営体34、合計224経営体です。



川畑 満英 (59歳)

求名

プロイラー

効率的な生産を目指す。



氏名(敬称略) 楠木園 建雄 (62歳)

居住地区 鶴田

経営作目 露地野菜(ばれいしょ)+梅

意気込み 安全安心でおいしい作物の生産を目指す。

認定農業者制度は、意欲ある農業者が「私はこの町でこういう農業がやりたい」という考えと、経営を計画的に改善するために作成した「農業経営改善計画」を示し、町がその考え方・意欲を認め、地域全体で経営目標の実現を図るための環境づくりを進めることを目的としています。認定農業者に対しては、関係機関が各種支援策を集中的・重点的に実施します。

町政座談会開催

皆さんの意見を町政に

町では、7月24日の時吉区公民館での開催を皮切りに「平成25年度町政座談会（ふるさと元氣座談会）」を開催し、全20公民館で説明を行いました。

今年度は、主に3つのテーマについて説明を行いました。

- ① 第2次さつま町総合振興計画の策定（企画課）
- ② 地域防災計画（原子力防災対策編）の策定及び防災行政無線のデジタル化（安全安心対策課）
- ③ 町立学校適正化計画（案）の見直し案（教育委員会総務課）

今月号では、10月3日に行われた紫尾区から神子区までの10公民館で出された主な意見の項目について紹介します。

皆様からいただきました意見については、今後の町政運営に生かせるように努力してまいります。



たくさんの御参加
ありがとうございました

出席者総数
847人

紫尾区

10月3日（木）

- 有害鳥獣被害対策について
- 職員数の削減について
- 住みリフォームの助成について
- 地域周辺部の位置付けについて
- 原子力防災について



船木区

10月25日（金）

- 船木区統一の無線機の設置について
- 中山間直接支払制度の存続について
- 船木区運動公園の排水整備について
- 県道、町道の改良及び整備について
- 旭公民会土石流の問題について
- 人口減少の対応策について



宮之城屋地区

10月18日（金）

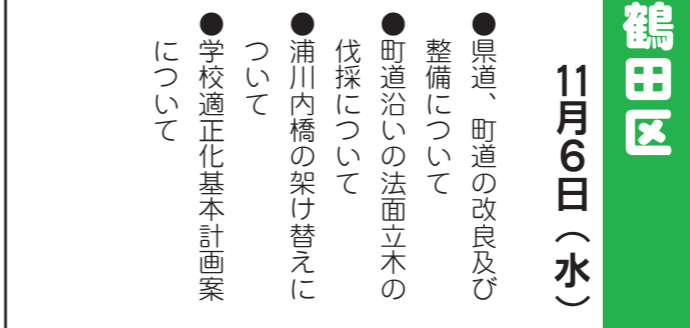
- 現存する文化遺産、写真等の記録について
- 宮都大橋左岸側河川敷整備について
- 町道の追越し禁止区間設定について
- 鶴田ダム再開発に伴う固定資産税（交付金）の増額について
- 本庁舎南側の生活道路について



鶴田区

11月6日（水）

- 県道、町道の改良及び整備について
- 町道沿いの法面立木の伐採について
- 浦川内橋の架け替えについて
- 学校適正化基本計画案について



虎居区

11月8日（金）

- 虎居地区公民館の調理施設の整備について
- 学校支援ボランティアについて
- 高規格道路の経路、進捗状況について
- 悪臭対策について
- 虎居交差点付近への空港バス停留所の設置について
- 公文書の配布について



山崎区

11月12日（火）

- 河川改修工事による新川公園の活用策について
- 総合振興計画の策定について
- 学校適正化基本計画案について
- 原子力防災対策について



二渡区

11月23日（土）

- 地域経済の再生（今後の農業の見直し）について
- スポーツ交流人口の増大を図る対策について
- 地区内への定住対策と住宅団地造成について
- 薩摩中央高校への入学者を増やす対策について
- 国道の山崎大橋の歩道拡幅について



平川区

11月9日（土）

- 有害鳥獣被害対策について
- 地域経済の再生（今後の農業の見直し）について
- 町の老人福祉対策について
- 平川小学校校舎の跡地活用について



求名区

11月22日（金）

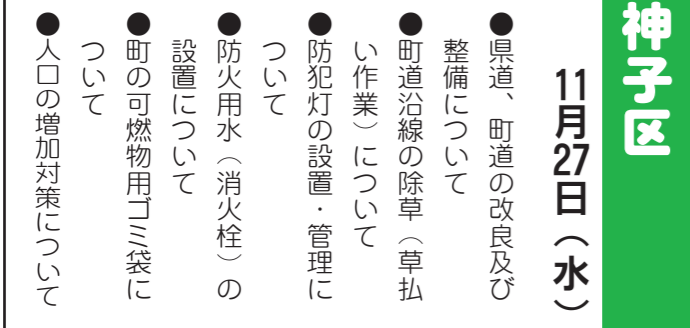
- 有害鳥獣被害対策について
- 県道、町道の改良及び整備について
- 独居老人世帯家屋の今後の対策（空き家対策）について
- 防犯灯の設置・管理について
- 公文書の配布について



神子区

11月27日（水）

- 県道、町道の改良及び整備について
- 町道沿線の除草（草払い作業）について
- 防犯灯の設置・管理について
- 防火用水（消火栓）の設置について
- 町の可燃物用ゴミ袋について
- 人口の増加対策について



ホールインワン続出！
グラウンドゴルフ大会



ボールの行方は！？

また、ホールインワンが86回(79人)出ています。

大会結果

■チーム名・スコア

優勝 虎居2組 232

準優勝 虎居3組 237

第3位 柏原東 238

■個人の部(敬称略)

優勝 堀クニ子(虎居2組) 30

準優勝 宇都保子(虎居3組) 31

第3位 柳田親見(中津川A) 32

11月16日、第9回さつま町区公民館対抗グラウンド・ゴルフ大会が、宮之城運動公園で開催されました。

昨年度は雨のため中止でしたが、今回は晴れ渡った秋空のもと17区公民館から47チーム282人が出場し、熱戦が繰り広げられました。

選手の皆さんは好スコア目指して打球の行方に一喜一憂されていました。

団体の部は、2位に5打差をつけて、虎居2組チームが見事優勝されました。個人の部では、堀クニ子さん(虎居2組)が、2ラウンド合計スコア30で優勝されました。



紫尾山頂で記念撮影

親子で紫尾山の自然を満喫

さつまの日

11月16日、さつまの日推進事業「親子で紫尾山トレッキング」が開催され、13家族33人が参加しました。当日は、鹿児島市立科学館の立久井昭雄先生を講師に招き、紫尾山の上宮神社周辺の遊歩道を散策し、紫尾山の植物について学びました。その後紫尾山頂まで登り、温かいお茶と郷土料理の「がね」で疲れを癒しました。椋鳩十の紫尾山を舞台にした「犬塚」の朗読会もあり、親子で紫尾山の自然を満喫し、家族団らん時間を過ごせたようです。

町青少年町民会議では1月には「親子でねったぼを作る」を開催する予定です。

11月17日、こども図書館「えほんの森」で「0円古本市」が開催されました。これは、町図書館に寄贈された本のうち、蔵書と重複している等の理由で開架できていないものや、家庭で役目を終えて眠っている本を有効活用するために企画されたイベントです。

当日はあいにくの天気にもかかわらず、薩摩川内市や良市、出水市など町内外から150人以上が訪れ、大変な賑わいとなりました。

特に人気だったのは絵本や児童書、料理本などで、絵本に関しては当初準備していたものから90冊ほど追加しました。



0円古本市開催

じゅも図書館



お目当ての本が見つかるかな？

11月24日、第19回平川郷祭りが開催されました。当日は、夜星川流五ツ太鼓や平川ひよつとこ踊り保存会による郷土芸能「ひよつとこ踊り」などの発表のほか、平川鍋の無料配布も行われました。

また、平川小児童が栽培したもち米を使用した焼き餅も販売され、多くのお客さんが買い求めていました。



ひよつとこ踊りに平川小児童も参加

平川郷祭り開催

11月24日、第19回平川郷祭りが開催されました。当日は、夜星川流五ツ太鼓や平川ひよつとこ踊り保存会による郷土芸能「ひよつとこ踊り」などの発表のほか、平川鍋の無料配布も行われました。

また、平川小児童が栽培したもち米を使用した焼き餅も販売され、多くのお客さんが買い求めていました。



牛さんおつきいね～！

牛に触ったよ！

盈進小学校

11月21日、盈進小学校で乳牛の搾乳体験・交流給食が実施されました。

これは、地産地消の授業の一環で、子どもたちに地元の食について知ってもらおうと企画されたものです。

当日は酪農家や県酪農協、北薩地域振興局の職員等が乳牛について説明。1年生の児童は、子牛が朝夕2れずつ乳を飲むことや、母牛からは1日30kgくらい乳が出ることを学びました。また、搾乳体験では大きな牛の下にもぐりこみ、乳しぼりを楽しんで



みんなで楽しく給食をいただきました

交流給食では、地元産黒毛和牛のサイコロステーキを酪農家の方々とおいしそうに食べていました。また、中津川小学校では、同地区の永江友義さんより畜産の仕事について説明があり、交流給食も行われました。

みんなで学ぶ

地産地消！

求名小学校

12月10日、地産地消・食育の一環として、求名小学校で生産者との交流が行われました。

生産者である楠木園建雄さんは、試行錯誤を重ねながら地域の特産品としてジャガイモを育ててきたことや、農業の苦労・喜びについて子どもたちに話されました。

また、この日の給食では、鶴田地区の上場で生産された「赤土ばれいしょ」が「ベイクトポテト(オーブンで焼き上げたジャガイモ)」として



児童に説明する永江さん(中津川小学校)

生徒が育てた野菜など販売

薩摩中央高校

11月22日、薩摩中央高校農場で、生徒が手塩にかけて育てた野菜・花苗・鉢物や豚味噌等の加工品の展示即売会が開催されました。町内から多数の方が訪れ、販売員の生



農産物展示即売会の様子

徒の威勢の良い掛け声につられて、取れたての新鮮な大根・白菜・長ネギ・みかん等を手に取り、購入されていました。また、校内農園で育った新鮮な農産物を使った豚汁も無料で500人に振る舞われ、会場内にはさつまちゃんも訪れるなど、おもてなしにあふれた賑わいのある展示即売会となりました。今後も薩摩中央高校では、地域に根ざした高校として、町民の皆様との触れあいを大切に、様々な行事を計画していくとのことです。町民の皆様温かなご支援を今後ともよろしく願います。



楠木園さんから児童へジャガイモのプレゼント

敢闘賞受賞
徳永和正さん

11月22日から25日に千葉県幕張メッセで開催された「第51回技能五輪全国大会」に宮之城高等技術専門校から4名参加し、建築大工部門に出場した徳永和正さんが敢闘賞に輝きました。

同校の同部門への挑戦は7度目で、今回初めて入賞。また鹿児島県では11年ぶり、九州勢としては10年ぶり、西日本で唯一の入賞者となりました。

徳永さんは「今まで練習してきてよかったです。1位・2位の選手とは（技術の）差があったので、残りの訓練生活で技を磨いていきたいです」と話してくれました。



上村先生とメダルを手にする徳永さん(右側)



家紋入りの記念品を手にする下野さん(中央)

祝105歳
下野ツナさん

ほたるの里に入所中の下野ツナさんが、11月に105歳を迎えられ、日高町長から記念品が贈られました。

これは高齢者施策の一環として105歳・110歳に到達された方に家紋入り記念品を贈り、長寿のお祝いと敬老の意を表するもので、本年は下野さんが1人目の贈呈となります。

当日は、ご家族や施設職員が見守る中笑顔で受け取られ、「105歳になって記念品もただで嬉し。長寿の秘訣は何でも人より頑張ること」と下野さんは話されました。

学校給食用に
梅の加工品贈呈

11月29日、農事組合法人薩摩西郷梅生産組合の竹之内孝二代代表理事（会員94名）から学校給食用に梅の加工品が贈呈されました。

これは、町内の小・中学校の子どもたちに町の特産品である薩摩西郷梅を使った新商品を食べてもらおうと提供されたものです。

今年度、「梅の里再生事業」を利用し商品化された梅みそ、梅ジャム、はちみつ味梅干し等が町内小・中学校の給食で出される予定です。



竹之内代表理事(左)から東教育長へ贈呈されました

お肌ツルツル美白
美人の湯を学ぶ

11月27日、紫尾小学校の全校児童25人が紫尾温泉を訪れ、温泉やおし柿等について学びました。

これは、紫尾温泉の良さや価値を認識し、地域の文化や自然を大切にす方々との関わりをおして校区に誇りをもち、ふるさとを大切に思う心を育てようと実施されました。

前半は温泉博士の河原潤一さんを講師に迎え、温泉の正しい入り方や紫尾温泉の特徴、公衆浴場のマナーについてユーモアを交えた講義がありました。後半は、紫尾区営大



足湯に入る際のマナー等を教わりました

平和を願う
町戦没者追悼式

11月25日、平成25年度町戦没者追悼式が開催されました。本年度は、例年実施してきた宮之城文化センターから鶴田中央公民館に会場を変更して開催されました。

当日は、町遺族会員をはじめ、町議会議員や公民会長など120名を超える参加があり、献詠、鎮魂の舞、献花などが行われました。



厳粛に執り行われました

またご家族の方も「今まで元気でいてくれて嬉しい、これからも長生きしてほしい」とさらなる長寿を祈っていらつしやいました。

河川敷を駆け抜ける
盈進小学校

11月26・27日、虎居地区の河川敷で、盈進小学校の持久走大会が行われました。今年度から、整備された川内川の虎居地区河川敷を利用して行われ、保護者や地域の温かい声援を受けた児童は一生懸命ゴールを目指して走りました。



最後まで力いっぱい走りきりました！

県障害者
保健福祉大会

鹿児島保護観察所長表彰
勝田 俊治
（山崎中公民会）
柏木 幸平
（虎居町公民会）

11月15日開催の平成25年度鹿児島県障害者保健福祉大会において、柏原区上川口公民会の四位芳彦さんが「障害者更生援護部門」で鹿児島県知事表彰を、さつま町手をつなぐ育成会が「愛のひとしづく運動優良団体の部」で鹿児島県手をつなぐ育成会理事長表彰を受けられました。

四位さんは、さつま町身体障害者福祉連絡協議会会長として永年にわたり、身体障害者の更生活動に尽力されています。

更生保護功労者表彰

11月29日開催の平成25年度鹿児島県更生保護功労者顕彰式において、次の方々が表彰されました。（敬称略）
 ■法務大臣表彰
橋本 茂
（船木下公民会）
 ■全国保護司連名理事長表彰
久保 泰文
（さくら公民会）



文化センター本館ロビーで展示中です

応募総数1232点
さつま美術展

11月27日、「第9回さつま美術展」の審査会を行いました。

テーマ部門と自由部門の2部門で作品を募集し、園児から一般まで、1,232点の応募がありました。

《更生保護女性会の部》
鹿児島保護観察所長感謝状
井上 惠津子
（東善寺公民会）
山下 弘子
（東善寺公民会）

役場に展示中

町内の幼稚園・保育園の園児が勤労感謝の日に合わせて作ってくれました。



審査の結果、次のとおり特別賞が決まりました。入選以上の受賞作品94点は、1月22日まで宮之城文化センター本館ロビーに展示していますので、ぜひご覧ください。（敬称略）

- ◎テーマ部門
最優秀賞 古町 玲菜
（求名小学校 6年）
- ◎自由部門
最優秀賞 有川 琴乃
（保育園クオラキッズ 5歳）
優秀賞 玉利 綺音
（盈進小学校 6年）
上別府 龍成
（求名小学校 6年）

さつままるちゃん 第3位

11月9日、「第14回KKKB小学生陸上フェスタ2013」が鴨池陸上競技場で開催され、特別イベントとして県内各地のゆるキャラによる30m競走が行われました。さつままるちゃんは見事第3位！これからも色んなことに挑戦していきます♪



さつままるちゃん、両手をあげて全力疾走！

鍋であったままつ
じょじょん鍋完成



かくや姫の2人も「じょじょん鍋」をPR

11月23日、さつま町の新しい鍋料理「さつま極美味鍋（じょじょん鍋）」のお披露目が、宮之城鉄道記念館で行われました。

これは、鍋でウォームシェア※全国キャンペーン（地球温暖化防止国民運動）の一環で、鹿児島県を代表して本町で行われ、県料飲業生活衛生同業組合さつま支部（森博昭会長）が開発しました。

今回お披露目された鍋は、川内川で獲れた鮎・山太郎ガニ・手長エビのスープを基本に町内産の野菜やさつま牛を盛り込んだものです。当日は先着200人に振舞

われ大変好評でした。さつまじょじょん鍋は、町内5箇所の飲食店（しび荘、ひかり別館、菜々小町、宮の杜、食彩みやわき）で予約すれば食べることができます。「お問い合わせ先 さつま観光案内所 ☎(53)0525」

また、南日本放送（MBC）では、12月と1月に40回にわたりCMが放映されます。

※環境省が提案している「ウォームシェア」は、家庭などで一人ひとりが暖房を使わず鍋などを囲み、暖房エネルギーを節約しようというものです。



ウォームシェアキャンペーンに参加された皆さん



そば打ちを体験する参加者

地元の魅力再発見
我がまち
さつま町を
知るツアー

11月28日、今回で3回目となる、ふるさと再発見「我がまち さつま町を知るツアー」が開催されました。

今回は、町民22人が参加し「そば打ち体験と歴史・紅葉めぐり」という内容で、食・自然・歴史など様々な名所を巡られました。

そば打ち、きくらげの駒打ち体験は、初めての方が多く、皆さん楽しまれながら体験されていました。

永野金山跡では観光ガイドによる説明もあり、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。



鶴田ダム堤頂道路を通り曾木の滝を目指しました

大自然の中を歩く
大鶴湖ウォーキング

12月1日、鶴田ダムから曾木の滝までのダム湖畔（約13km）を歩く、奥薩摩「大鶴湖」ウォーキング大会がさつま町観光特産品協会主催で開催されました。

当日は、途中からあいにくの雨になりましたが、250人の参加者は、湖畔と紅葉のきれいなコースを元気いっぱい全員完歩しました。

途中には、「ぜんざい」やかぼちゃで作った「ふくれ菓子」が用意され、ゴールでは「黒毛和牛たけのこ丼」と「さつま大鍋」が振舞われ、参加者は疲れを癒していました。



薩摩中での「赤ひげ」巡回公演

文化芸術を体験
薩摩中学校

12月6日、文化庁「次代を担う子ども達の文化芸術体験事業」の巡回公演、東京芸術座による劇「赤ひげ」（山本周五郎原作）が薩摩中学校体育館で行われました。

生徒や保護者、地域の方々が鑑賞する中、夏休みのワークショップに参加した生徒と先生も出演し、それぞれの役を演じました。

生徒たちは普段鑑賞する機会の少ない本格的な劇を目の当たりにし、大きな感動を覚えたようです。鑑賞後は、劇団員の方と舞台設備の片付けを行いながら、交流を図りました。

中学合同学習会

他校の活動を学ぶ



中学生の質問に答える竹下さん

竹下さんは、「目標を高く持つこと」、「目標に向かって努力することは当たり前のこととあり、いかに継続できるか」といった継続することの大切さを強調されました。

この学習会を通じて、生徒たちは中学生としての更なる自覚や志を高くもって生きる気持ちを強めてくれたものと思います。

各校、学校紹介の後に次の内容で発表しました。

- ・山崎中学校
- ・平和学習で学んだこと
- ・宮之城中学校
- ・創作劇「仮面」
- ・鶴田中学校
- ・福祉について・平和について
- ・薩摩中学校

「私の主張（一・二年生の三名が発表）」

12月12日、宮之城文化センターホールで、町内4中学校の一、二年生全員が一堂に会した合同学習会が開催されました。

まず、各校の代表が日頃の学習等の成果発表を行い、他校の活動等を学びました。

次に元全日本女子バレーボールチーム主将の竹下佳江さんによる「短所を武器とせよ」中学生へのメッセージ」と題した講演が行われました。



山崎中生徒による発表

観光カレンダー完成

観光特産品協会が町に寄贈



(左から)日高町長、観光特産品協会山本会長・手塚副会長・柳山副会長

12月6日、さつま町観光特産品協会が作成した月ごとの町内のイベントなどを盛り込んだ観光カレンダーが町に寄贈されました。カレンダーの写真は、宮之城写真友会の皆さんが年間を通して撮影されたものを使用しております。また、写真とデータも、これからの観光宣伝や誘客に役立てて欲しいと、同写真友会から町に寄贈されました。



(右から)宮之城写真友会の松田さん・外山さん・東郷さん

観光カレンダーは、1部400円で宮之城鉄道記念館で販売されています。

新庁舎建設事業

《現場だより》⑨

寒さが厳しくなった11月下旬、新庁舎建設の現場では、足場の解体作業が始まりました。

足場やシートが外されていくと、薄茶色の外壁にL字型の全景が現れ、まるでやさしく両手を広げているようです。

建設工事は、年内でほぼ終了し、年明けの1月は、点検と検査が予定されています。

2月に入ると、新庁舎への移転作業を計画していますので、次号で詳しくお知らせいたします。

また、今後、庁舎周りの外構工事が行われます。駐車場が狭く、皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご協力をよろしく願っています。



薄茶色の全景が現れました



会場はほのかな灯りに包まれました

12月7日・8日、宮之城温泉の湯田八幡神社から温泉街にかけて、約7000本の竹燈籠が並べられ、ホタルに似たほのかな灯りに訪れた人たちは、心を癒されていました。また、7日は花火大会も開催され、色鮮やかな光が冬の夜空に輝いていました。



点灯の様子

心を癒す灯り
みゃんじよ温泉
「竹ホタル」

3期成会が国交省へ整備要望
北薩空港幹線道路整備促進期成会
国道328号整備促進期成会
川内川改修促進期成会

11月19日から20日の2日間、国土交通省及び財務省において、地域高規格道路「北薩横断道路」、「国道328号」並びに「川内川」の整備促進のための要望活動が行われました。

「北薩横断道路」と「国道328号」の整備促進のための要望活動については、例年、国土交通省のみでしたが、今回初めて財務省への要望活動を行うことができました。

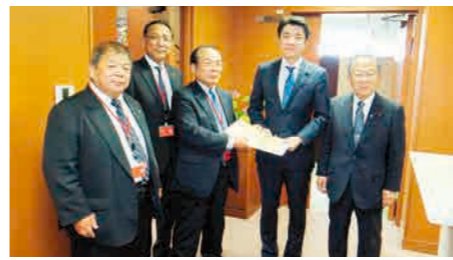
財務省では、葉梨大臣政務官、香川主計局長に対し、昨年11月6日に開催された「北薩横断道路整備促進地方大会」の開催状況や地域住民の熱意について報告し、地方の公共事業の予算確保について要望しました。

また、国土交通省では、野上副大臣、中原大臣政務官、増田事務次官、足立技監に対し、「北薩横断道路」の整備促進について、鹿児島県から北薩空港道路間及び広瀬道路から泊野道路間、並びに紫尾道路から南九州西回り自動車道阿久根北IC間の早期事業化を図るよう、強く要望しました。

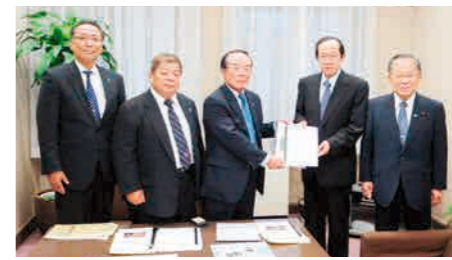
国道328号の整備促進については、整備に必要な財源の確保と南九州西回り自動車道へのアクセス道路としてのバイパス建設の整備促進を要望しました。

「川内川改修促進期成会」による鹿児島県との合同要望活動では、足立技監、森北水管理・国土保全局長に対し、宮之城屋地区、虎居地区、時吉地区の環境整備や内水対策（排水機場設置）等について要望しました。

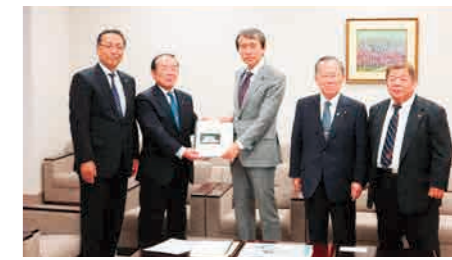
このほか鹿児島県選出の国會議員等に対しても要望活動を行いました。



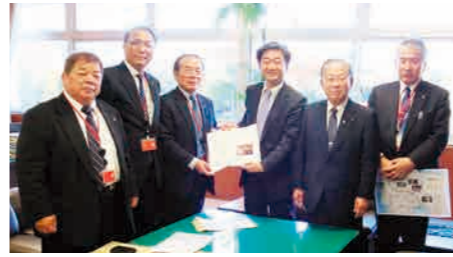
北薩横断道路要望【国土交通省 野上副大臣】



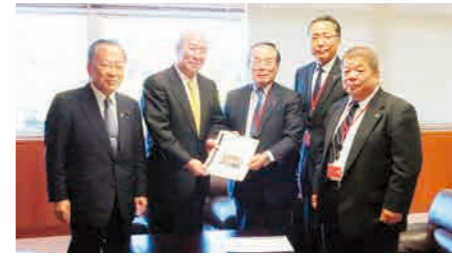
北薩横断道路要望【財務省 香川主計局長】



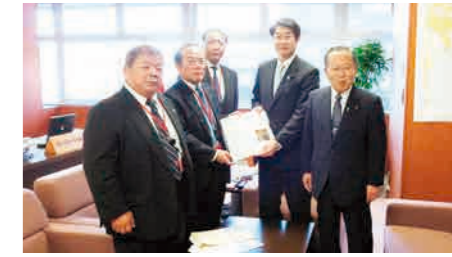
北薩横断道路要望【財務省 葉梨大臣政務官】



北薩横断道路要望【国土交通省 足立技監】



北薩横断道路要望【国土交通省 増田事務次官】



北薩横断道路要望【国土交通省 中原大臣政務官】



川内川改修要望【足立技監】



北薩横断道路要望【野間代議士】



北薩横断道路要望【宮路代議士】



川内川改修要望【野間代議士】



川内川改修要望【宮路代議士】



川内川改修要望【森北水管理・国土保全局長】

薩摩郡医師会病院診療案内 (H25.10.1~)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野 神野		神野 神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	大学
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		
外科	本坊	本坊	本坊	緒方	本坊	
循環器内科			福岡	堀之内 (第2・4)	早川	
消化器内科					倉元	倉元
整形外科	海江田	松垣	海江田	海江田	吉松	吉松 (原則第2・4)
放射線科	林田	林田		林田	内匠	

*50歳以上の方は、低線量CT肺がん検診が3,150円で受診できます。(要予約) 担当:外川内(TEL:0996-53-0326)

墓石 納骨堂
 銘碑の彫り込み
 墓石・納骨堂 解体・撤去
 お墓のリフォーム

確実な信頼と永年の実績を誇る
鳥居石材店 鳥居通
 さつま町虎居町7-8 TEL0996(53)1189

私たち南九州税理士会川内支部所属の税理士は、無料で確定申告書の書き方の指導と相談に応じています。

下記税理士の事務所
2月1日(土) ~ 2月28日(金)
 各税理士事務所にお電話でご予約下さい。(詳細は各事務所にお問い合わせ下さい。)

①確定申告相談【30分程度】…原則無料
 ②申告書作成……………有料

実はそれって
税理士かも!

池田 龍美	中郷町6900	27-1133	村岡 正敏	入来町浦之名10818	44-2685
氏郷 埜正	鳥追町2-23	22-4566	本宮 久男	平佐町2843-4	27-4330
大久保 和孝	上川内町4078-6	22-7272	山崎 宏	さつま町宮之城屋地	52-1688
奥 康己	中郷町6550-1	23-0720	山下 兼二	樋脇町市比野177-8	38-1881
木場 文幸	東郷町斧淵1591-13	42-0814	山田 元彦	さつま町宮之城屋地	52-1580
橘木 広司	宮崎町1942-1	20-0314	吉田 龍也	さつま町轟町	52-2811
寺脇 敏一	御陵下町27-17	23-0141	税理士法人	鳥追町2-23	22-4566
富鶴 重夫	永利町1592-1	23-1583	氏郷・堀之内	中郷町6900	27-1133
中牟禮 徹	宮崎町1919-3	20-5836	税務会計事務所	平佐町2227-1	29-4725
鍋 清見	平佐町2227-1	29-4725	税理士法人		
肥後 昭信	宮内町1849-2-102	23-9938	神園会計事務所		
平野 謙二	向田本町10-20	29-3667	税理士法人		
外園 洋一	大小路町77-18	23-3541	未来税務会計事務所		
堀之内 大和	鳥追町2-23	22-4566	鹿児島川内事務所		

まちの歴史探訪⑪

ぶつたんこ

(ぶつたん講)

今回は正月にちなんで「ぶつたんこ」という行事を紹介します。宮之城屋地の八坂神社境内にある小さな祠には、恵比寿様が祀られています。「えへっさあ」と呼ばれて、商売繁盛だけでなく貧しい人を救ってくれる神様として、古くから親しまれています。ぶつたんことは、この恵比寿様の祭りのことで、詳しくは「宮之城文化」第6号でも紹介されています。その昔、宮之城の商人たちが年の暮れに一年間のかけ売りの清算などで、どうにも首が回らなくなりそうな時に、夜半に誰にも見られずに恵比寿様を社から盗み出し、一心不乱に拝むと、不思議な事に借金から逃れて新年を迎える事ができたといわれています。そして、お正月に恵比寿様にお神酒やお供え物をしてお礼を申し上げ、竹筒を「ブーブー」吹きながら元の社にお返しに行くという習わしでした。この竹筒の音が恵比寿様の笑い声であると言われ、ぶつたんこの名の由来になったと言われています。

なお、八坂神社の恵比寿様は夫婦で祀られています。恵比寿と大黒天が対で祀られていることはありますが、このように夫婦で祀られているのは大変珍しいものです。そして、台座の裏には大正の年号と松永某という墨書銘があります。



夫婦で祀られている恵比寿様

竹筒を吹きながら練り歩く様子

健康さつま21 一人にちは保健師です

使われましたか？

ふたつの無料受診券



「健やかいきいきお口健診」

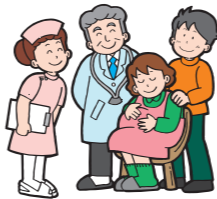
1. 本年度対象者
 - ・昭和47年4月2日～昭和48年4月1日生
 - ・昭和37年4月2日～昭和38年4月1日生
 - ・昭和27年4月2日～昭和28年4月1日生
 - ・昭和17年4月2日～昭和18年4月1日生
2. 期 限：1月31日まで
3. 持参するもの：無料受診票（紛失された方は、健康増進係で再発行いたします。）

※薩摩郡歯科医師会加入の医療機関で受診できます。
（詳しくは役場健康増進課まで）

「妊婦無料歯科健診」

1. 対象 者：さつま町在住の全ての妊婦さん
 2. 期 限：出産されるまで
 3. 持参するもの：無料受診票、母子健康手帳
- ※薩摩郡歯科医師会加入の医療機関で受診できます。
（詳しくは役場健康増進課まで）

大切なお口の健診です。必ず受診しましょう!!



■お問い合わせ先 健康増進課 健康増進係
☎(53) 11111 (内線2143・2144)



子どもたちが元気！学校が元気！

教育活動の紹介③

佐志小学校

『むし歯ゼロをめざそう』活動

佐志小学校では、歯科指導に力を入れて取り組んでおり、平成6年度より「フッ化物洗口」を実施しています。毎年4月に町の健康増進係が保護者や児童に説明を行い、保護者の承諾を確認した後、毎週水曜日に行っています。6月には歯の衛生週間を設け、歯科衛生士の和気先生から、学年に応じたむし歯や歯周病予防の指導をしていただきました。

給食後には児童一人ひとりが、手鏡を使って、本校独自の「歯磨き指導CD8020運動」の放送に合わせて、4分間の歯磨きを行っています。そして、担任と養護教諭が協力して、磨き残しがないかチェックをし、個別に歯磨き指導をしています。

さらに、保健室前の掲示板には、定期的なむし歯の治療状況の様子を表したグラフを掲示し、むし歯予防や治療に対する児童の意識向上を図



フッ化物洗口の説明



▲磨き残しチェック



▲歯科衛生士の指導



▲むし歯治療状況のグラフ



▲給食後の歯磨き

柏原小学校

「子どもも教師も家庭も学びが好きななる」活動

柏原小学校では、「夢いっぱい 花いっぱい あいさついっぱい 笑顔輝く柏原の子」をキャッチフレーズに日々教育活動に取り組んでいます。本校の「子どもも教師も家庭も学びが好きななる学校づくり」を合い言葉に実践してきた中から、二つの取組を紹介します。

■授業を楽しく（ICT）情報通信技術）を利用した学習にチャレンジ

今年度はもっと気軽に大型テレビが使えるように、スマートフォンと大型テレビを繋ぐために必要な道具をいくつかそろえました。スマートフォンにはカメラやビデオの機能が備わっており「静止画」「動画」「音声」を撮影・記録・再生ができます。スマートフォンと大型テレビを繋ぐことで楽しく、分かりやすい授業を工夫しています。これまで、「音楽の授業でミニ発表会を撮影し、その場で鑑賞」「算数の授業で教科書を写しだして、大型教科書の代わりに」などに使いました。子どもたちも「歌っている自分がすぐに映し出されるのいいと



▲教科書を映す大型テレビ



▲スマートフォンでの撮影



各学級の読書コーナー



町内の各小・中学校では、校区の特色や児童生徒の実態、教師や保護者・地域の思い・願い等をもとに、子どもたちをすこやかに育てるために、さまざまな教育活動を展開しています。

ころや直すところがすぐに分かる」「先生が教科書のことを差しているのかよくわかる」と分りやすい授業が展開され、学力向上につながっています。

■読書を楽しむ、読書量の増進にチャレンジ
本校は、学びの基礎となる読書活動の推進にも力を入れており、今回、小型のガゼル（本立て）を各教室に配置し、書籍紹介の場としました。児童図書委員の子どもたちが毎月各学年に紹介したい本を選んで飾っています。各学年の貸出冊数はどの学年もほぼ倍増しました。本年度の目標冊数にあと少しで到達します。



健康診査日程 (1・2月分)

健康増進課 健康増進係
内線2144

乳幼児健診・健康相談

■1歳7〜8か月児

1月15日(水)

午後0時30分〜午後1時
受付(宮之城保健センター)

■7〜8か月児

(H25・5生) 育児相談

1月24日(金)
午前9時〜午前9時30分
受付(宮之城保健センター)

■3歳児

(H22・11生) 健診

1月22日(水)
午後0時30分〜午後1時
受付(宮之城保健センター)

■すくすく相談

2月7日(金)

午前9時〜午前10時受付
(宮之城保健センター)

■2歳3か月児

(H23・10生) 歯科健診

2月6日(木)
午後0時30分〜午後1時
受付(宮之城保健センター)

■4か月児

(H25・9生) 健診

2月12日(水)

午後0時30分〜午後1時
受付(宮之城保健センター)

■母子健康手帳交付

2月3日(月)

2月17日(月)
午前9時30分〜午前11時
(宮之城保健センター)

※健康保険証・印鑑をお持ち
ください。

■フッ化物塗布

1月15日(水)

1月22日(水)
2月6日(木)
午後3時〜午後4時受付
(宮之城保健センター)



■屋地楽習館健康相談

2月4日(火)

2月18日(火)
午前9時30分〜午前11時
(屋地楽習館)

■「えほんの森」身長・体重測定

2月14日(金)

午前10時〜午前11時30分
(こども図書館 えほんの森)

平成25年分から、所得
税と併せて復興特別
得税を申告・納税する
必要があります

税務課 町民税係
内線2119

平成23年12月2日、「東

国民年金のお知らせ

二十歳になったら
国民年金!!

国民年金は、すべての公
的年金の基礎となるもので
す。日本国内にお住まいの
20歳から60歳までの方は、
公的年金に加入することが
法律で義務づけられていま
す。やがて訪れる長い老後
や、生活の安定を損なうよ
うな『万が一』の事態に備
え、保険料を出し合い、お
互いを支えあう制度です。
20歳になったら、忘れずに
国民年金の加入手続きをし
ましょう。

国民年金の
徴収票が送付されます

日本年金機構では、平成
25年1月から12月中に「老
齢年金」を受け取られてい
る方全員に平成26年1月末
日までに源泉徴収票を送付
しています。
源泉徴収票は、所得税の
確定申告や住民税の申告の
時に必要ですので大切に保
管してください。

もし、源泉徴収票を紛失
された場合は、再発行でき
ますので、川内年金事務所
まで申し出てください。
なお、「障害年金」や
「遺族年金」については非
課税ですので、源泉徴収票
は送付されません。

あなたの気になる年金
記録 も一度確認を!

平成25年1月末から「気
になる年金記録、再確認キ
ャンペーン」を行っています。
年金記録問題の解決に向
けて、これまで「年金特別
便」などをお送りし、ご確
認をお願いしてまいりまし
た。しかし、いまだ約2、
200万件の持ち主が確認
できていない記録が残って
います。「年金特別便」が
届いたことがない方や回答
していない方、年金手帳を
複数お持ちの方、ご自身の
年金記録に「もれ」や「誤
り」があるのではとご心配
の方は、ご確認いただき、
年金事務所にご相談くださ
い。

日本大震災からの復興のた
めの施策を実施するために
必要な財源の確保に関する
特別措置法」が公布された
ことに伴い、平成25年分
から平成49年分までの各年分
については、所得税と併せ
て復興特別所得税の申告及
び納付が必要になりました。
復興特別所得税の額は、
各年分の基準所得税額(原
則として、その年分の所得
税額)に2.1%の税率を
掛けて計算した金額です。
詳しくは、国税庁HP
(<http://www.nta.go.jp/>)

の「個人の方に係る復興特
別所得税のあらまし」をご
覧いただくか、最寄りの税
務署へご相談ください。

■お問い合わせ先
川内税務署
☎(22) 2830
※自動音声案内

確定申告に関する
ご相談は、確定申告
電話相談センター「0番」へ

熊本国税局では、平成26
年1月20日(月)から3月
17日(月)までの期間、「確
定申告電話相談センター」

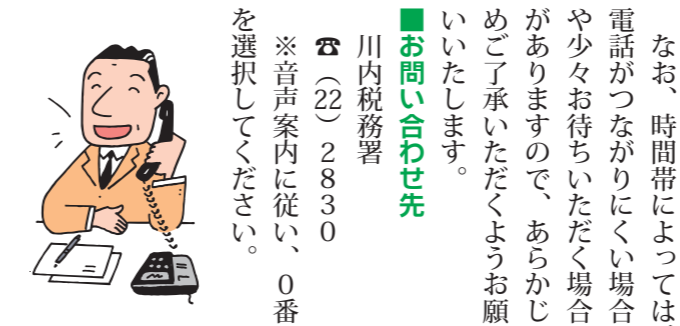
視野の障害の認定基準
が変わりました

平成25年6月1日から、
目の障害認定基準が改正さ
れました。
視野の障害の2級の基準
が一部追加されたため、今
まで該当しなかった方が該
当する可能性があります。
■改正前
両眼の視野が5度以内
(I/2 視標)
←
■改正後
(1) 両眼の視野が5度
以内 (I/2 視標)
(2) 次のいずれにも該
当する方も2級に該当しま
す。
① 両眼の視野が10度以内
(I/4 視標)
② 中心10度以内の8方向の
残存視野のそれぞれの角度
の合計が56度以下 (I/2
視標)
【ご確認ください】
■障害年金を受けていない方
今まで障害年金に該当し
なかった場合も、新たに請

を開設し、所得税及び復興
特別所得税・消費税及び地
方消費税・贈与税の確定申
告に関するご相談等に電話
でお答えしております。

最寄りの税務署の代表電
話におかけいただくと、自
動音声案内によりご案内し
ますので、「0」番を選択
し、用件をお話ください。
申告会場や受付時間など
の問い合わせにはオペレ
ーターがお答えするほか、問
い合わせの内容等により、
電話を転送し職員等がお答
えいたします。

■お問い合わせ先
川内税務署
☎(22) 2830
※音声案内に従い、0番
を選択してください。



今月の納税など
税務課 収納第1係
内線2113

・町県民税第4期
・国民健康保険第7期
・後期高齢者医療保険料第7期
・介護保険料第7期
【納期限 1月31日】

心配ごと相談所
福祉課 福祉障害係
内線2135



■毎週木曜日
午前10時〜正午
宮之城ひまわり館
■お問い合わせ先
町社会福祉協議会
☎(52) 1123

さつまの日
毎月第3土曜日は
「青少年育成の日」
毎月第3日曜日は
「家庭の日」

認定の手続きは、印鑑を
お持ちの上、介護保険係へ
お越しください。

■お問い合わせ先
介護保険課 介護保険係
(内線2174)

職員の異動
総務課 秘書人事係
内線2212

■係員の異動
【12月2日付け】
松尾泰代 健康増進課保
険係(鶴田支所保健福祉係)

11月の火災・救急情報
救急
◆出動件数 69件
運んだ人 62人
◆内訳
急病 30件 26人
交通事故 9件 9人
その他 30件 27人
火災
◆発生件数 0件

お手数ですが
50円切手を
お貼りください

8 9 5 - 1 8 0 3

さつま町宮之城屋地 1565-2

さつま町役場
総務課広報文書係 行
(2014/1月号)

○ご氏名
フリガナ _____

年齢 歳 性別 / 男・女 _____

○ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合は、実名で記載させていただきます。

○ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 () - _____



広報紙をご覧になった感想や
今後取り上げてほしい記事、
皆さんの身の周りて起こった
出来事、イラストなど、たく
さんの声をお聞かせください。

※個人情報の取扱い
・ご記入いただいた個人
情報は、お便りのご紹
介・賞品発送以外の目
的では使用しません。

点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

お便りありがとうございます。
広報紙で状況をお伝えできてうれ
しいです。今後、町がさらに発展
できるように頑張ります。これか
らもお元気で過ごしてください。
(満尾徳二 89歳男性)

鶴 田幼稚園の給食の黒毛和牛
のすき焼きがおいしかった
です。また食べたいです。
(きたはらみと 5歳女の子)

ぼくは極真空手をしています。
毎日練習をがんばって、今
年は全国大会にも行きました。空
手の練習でたくさん友達もでき
て、うれしいです。練習は大変だ
けど、試合に勝ったときはすごく
うれしいです。
(リッキー 12歳男性)

お便りありがとうございます。

81 歳になる私ですが、足が不
自由であまり外出しないの
で、広報さつまが届くのを楽し
みにしています。元気に毎日を過
せて幸せな事だと思っています。
ストラップ楽しみに待っています。
(若松八重子 81歳女性)

お便りありがとうございます。
給食がおいしくてよかったです。
さつま町はおいしいものがたく
あるから、たくさん食べて大き
なっています。
(広報文書係花)

広 報さつま12月号は初めのペ
ージから興味深く読ませて
頂きました。特に「健康保険制
度」の図による紹介は非常にわか
りやすく、「医療費を減らす6か
条」はポスター化して配布され
らと思えました。私共の税金を安
くするには、特定健診を必ず受診
する等して予防に心掛け、健康で
あることが自分自身の節税につな
がることに気づきました。
(二ツ木悦男 80歳男性)

このほかにも葉書をいただきま
した。ありがとうございます。
※文章は添削させていただきま
すので、あらかじめご了承
ください。



石井宏子プロフィール

・温泉ビューティ研究家・
トラベルジャーナリスト
・株式会社温泉ビューティ
研究所 代表取締役
・温泉の美容力を研究する
日本でただひとりの「温
泉ビューティ研究家」

著書

「温泉ビューティ」、「だ
から行きたくなる温泉セラ
ピーの宿」、「癒されてき
れいになるおひとりさま温
泉」など

温泉ソムリエサミット さつま 第2回



【日時】 平成26年1月26日(日)
13:00~15:30(開場12:30)

【入場料】 無料

【会場】 鶴田中央公民館

第一部 講師 石井 宏子氏
演題 「さつまの温泉、自然、
食を活かした新しい旅! 温泉ビューティ」

第二部 石井先生と九州女性温泉ソムリエ
トークディスカッション
テーマ 「九州温泉美人プロジェクト」

主催 さつま町観光特産品協会

■お問い合わせ先
さつま町商工観光課 ☎0996-53-1111 (内線2241)
旅館 玉之湯 ☎0996-55-9111

都市計画区域のうち用途
地域の指定のない区域(用
途白地地域)については、
容積率、建ぺい率及び建築
物の各部分の高さの限度に
ついて、特定行政庁が土地
利用の状況等を考慮し、当
該区域を区分して県都市計
画審議会の議を経て定める
こととなっています。

今回、宮之城都市計画区
域について、平成26年3月
頃を目途に鶴田地区及び虎
居地区の区域を都市計画区
域(用途白地地域)に編入
するとともに、名称をさつ
ま都市計画区域に変更する
予定であり、鹿児島県知事
はさつま町長からの意見等
を基に、当該編入区域につ
いて、用途白地地域におけ
る容積率等を次のとおり指
定することとしています。
なお、指定する数値は、
現在の宮之城都市計画区域
における用途白地地域の容
積率等と同じです。

区 域	容 積 率	建ぺい率	隣地斜線制限	道路斜線制限
都市計画区域 に編入予定の 鶴田地区、 虎居地区	10分の40	10分の7	2.5	1.5
備考	・鶴田地区 大字鶴田字下原の全部、 大字神子字下湯田原の全部、並びに 大字神子字下湯田原の全部、並びに 大字神子字下湯田原の一部 ・虎居地区 県立北薩広域公園内の一部			

建設課
まちづくり係
から
宮之城都市計画区域に新たに編入さ
れる予定の用途地域の指定のない区
域(鶴田地区、虎居地区)における
容積率等の指定(案)のお知らせ

容積率等の指定について
は、平成26年3月頃を予定
しています。
■お問い合わせ先
鹿児島県土木部建築課監
察指導係
☎099・286・3739

さ つまるちゃんストラップの
いろいろなバージョンがほ
しいです。さつまるちゃんグッズ
も他にもたくさん作ってほしい。
あと、役場とかで気軽に買える
ようにしてほしい。さつまるちゃ
んかわいくて大好きです。
いつか、ふなっしーとテレビに
出れるように頑張ってください。
ずっと応援しています。
(TOTOMARU 21歳女性)

私 は長い間、広報さつまの愛
読者です。毎月楽しんで読
ましてもらっています。有難うご
ざいます。とても内容が沢山工夫
して載せられており、こちら(県
外)にいても手に取るようによく

お便り紹介

1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん

やまのくち いつき
山之口 **樹**ちゃん
平成25年1月5日生



紫尾下公民会
父 **真** 広 **さん**
母 **真** 子 **さん**

両親から一言
元気にスクスク
育ってね!

篤志寄付
町社会福祉協議会へ
・紫尾区大衆浴場
上之原純夫

11月16日～12月15日届出分(7人) 敬称略	あかちゃん 萌 保護者 公民会	な くなった人 年齢 公民会等	な くなった人 年齢 公民会等
紺屋 花愛 女 正昭 鶴田南	高嶺 幸子 高嶺	海江田 葵 東	二渡新田(二渡地区)の開発区(須杭地区)の開発区を経て大山口川に注いで、再び西ノ井手となって須杭を経て旧東郷町南瀬まで続いています(現在は須杭まで)。距離にして約6km、その間の隧道(トンネル)は10か所以上延べ1.8kmあり、途中明かり窓を開け、そこから掘削した岩くずを取り出していました。大変な難工事、なかなか作業人が集まらず、後には日暮の工事現場に小屋をたて、掘り出した岩石1升に米1升を支払っていました。この難工事の末、灌漑水田約60haが潤いました。
久田 愛菜 女 幸雄 五日町	羽有 ノブ 境田	11月16日～12月15日届出分(30人) 敬称略	その流れは、280年以上経った今でも変わらず地域住民の生活を見守っています。
東新 旭氷 男 己幸 町頭	野上 妙子 別野	浦立 登江 上向中	
杉本 心晴 女 典隆 中央	坂元ノブ子 新岩元	高嶺 幸子 高嶺	
本砥 大翔 男 宏和 布田	河野 龍子 城内	藤野 末彦 ほとる	
草野 紗良 女 洋幸 虎居大角	坂元ノブ子 新岩元	浦立 登江 上向中	
梅樹 堯史 男 真一 観月台	上畝カツ子 大畝町	高嶺 幸子 高嶺	
	上床 盛光 時吉中城	高嶺 幸子 高嶺	
	木之下芳則 飯屋原	高嶺 幸子 高嶺	
	下畝 順作 大畝町	高嶺 幸子 高嶺	
	大窪 タマ 南川	高嶺 幸子 高嶺	
	寺脇 玉江 弓之尾	高嶺 幸子 高嶺	
	福田 利江 武白猿	高嶺 幸子 高嶺	
	吉原 可澄 吉川	高嶺 幸子 高嶺	
	東シノ ほとる	高嶺 幸子 高嶺	
	平野チエ子 きらら	高嶺 幸子 高嶺	
	市野サダ子 きらら	高嶺 幸子 高嶺	
	中村 虎義 橋掛	高嶺 幸子 高嶺	
	竹林チヅ子 マモリエ	高嶺 幸子 高嶺	
	汐満 信雄 湯之元	高嶺 幸子 高嶺	
	川畑シヅ子 下手	高嶺 幸子 高嶺	
	東郷 實友 東善寺	高嶺 幸子 高嶺	
	小牧伊勢吉 川原町	高嶺 幸子 高嶺	
	現王園長子 白男川	高嶺 幸子 高嶺	
	田畑 和子 城内	高嶺 幸子 高嶺	
	高嶺 幸子 高嶺	高嶺 幸子 高嶺	

誕生おめでとう

おぐやみ申し上げます

※「誕生・おぐやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

読者プレゼント

さつままるちゃん
ストラップを
差し上げます!

2月号のお便りコーナーに掲載された方へ「さつままるちゃんストラップ」をプレゼント。たくさんのご応募お待ちしております♪
【応募締切】
1月20日(月)消印有効



点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

町長の動静 (平成25年11月)

※主な会議及び行事を抜粋(各課・局との内部会議は省略)

1日(金) 職員朝会(訓話)▽三役調整会議▽北薩港幹線道路整備促進期成会県知事要望(副知事)・国道328号外三線整備促進期成会県土木部要望(鹿児島市)	3日(日) 関西まつま会5周年記念総会(交流会)(4日まで大阪府)	5日(火) 北薩森林組合長来庁協議▽川内川河川事務所長来庁協議▽薩摩寒蘭同好会役員来庁協議	6日(水) 行政システム社長来庁協議▽町政座談会(鶴田区)	7日(木) 第4回全国小水力発電サミットin鹿児島(鹿児島市)	8日(金) 町政座談会(虎居区)	9日(土) 伊佐市市制5周年記念式典(伊佐市)▽町政座談会(平川区)	10日(日) 第9回まつま町駅伝競走大会▽第57回薩摩寒蘭同好会展示大会	11日(月) 九州電力(株)副社長来庁協議▽国民健康保険運営協議会	12日(火) 監査委員行政視察対応(福島県南会津郡下郷町)▽町政座談会(山崎区)	13日(水) 北薩地域振興局建設部長来庁協議▽水道運営委員会	14日(木) 教育委員会委員と語る会▽北薩森林管理署長来庁協議	15日(金) 行政改革本部会議▽県文化財功労者表彰報告受(吉國健一郎氏) 県高校教育課参事来庁協議▽職員組合交渉	16日(土) 鶴田ダム再開発事業推進視察▽鶴田町「青森県」と中種子町とまつま町の経済友好交流会	17日(日) 平成25年度川内川地区母子寡婦福祉研修大会▽第9回まつまフェスタ	18日(月) ダム発電関係市町村全国協議会理事会(東京都)	19日(火) 全国治水砂防促進大会▽北薩港幹線道路整備促進期成会中央要望(東京都)▽甲斐通管 財務 県選出議員	20日(水) 川内川改修促進期成会中央要望(県選出議員)▽全国町村長大会(東京都)	21日(木) 地元選出国会議員訪問町政課題の要望活動(東京都)	22日(金) 水道事業電子入札(4件)▽認定農業者認定書交付式(2名)	23日(土) TV取材対応(ウォームシアア日本キャンペーン)まつまじょいん鍋披露	24日(日) 町政座談会(二渡区)	25日(月) 水道課入札(3件)▽町戦没者追悼式▽平成26年度当初予算説明会	26日(火) 九州各県国有林野等所在市町村長有志協議会代表世話人連絡協議会(熊本県)	27日(水) 議会全員協議会▽(株)寿精密社長来庁懇談▽町政座談会(神子区)	28日(木) 県市町村行政推進協議会第2回行政委員会(29日まで 神奈川県)	30日(土) 第1回まつまカップ高校男子バレーボール選抜大会(県外7チーム、県内9チーム)
---	-----------------------------------	---	-------------------------------	---------------------------------	------------------	------------------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	--	--------------------------------	---------------------------------	--	---	---	-------------------------------	---	---	---------------------------------	-------------------------------------	--	-------------------	--	--	--	--	---

町長交際費執行状況 (11月分)

(町長等が、行政執行上や町の利益のため、町を代表し外部との交際上必要な経費です。)

- 11月1日 40,000円 進出企業との企業情報連絡等時
- 11月3日 87,765円 第5回関西まつま会記念総会・交流会時地元産品ほか会費
- 11月6日 2,327円 国保事業・特定健診等研修視察受入時
- 11月9日 4,494円 町政座談会懇親会時
- 11月9日 4,936円 第34回中種子町農林漁業祭交流時
- 11月13日 23,408円 区公民館長連絡協議会青森県鶴田町交流研修時
- 11月14日 4,620円 長島、湧水、さつま三町連携協議会時
- 11月15日 3,004円 ホームページ外部研修時
- 11月17日 3,400円 轟原公民会復興祭時
- 11月17日 9,600円 さつまフェスタ参加御礼(青森県鶴田町)
- 11月20日 1,253円 国保事業・特定健診等研修視察受入時
- 11月26日 3,000円 国有林野等所在市町村長有志連絡協議会負担金
- 11月26日 10,000円 「竹のオブジェ」公園設置技術指導御礼

町長コラム 日高政勝

新庁舎竣工

合併協議会の懸案、本庁舎の建設問題を大きな課題として捉え、現庁舎の耐震調査を実施。震度6強で倒壊等の危険性があるなどの結果を経て、町民代表等の「建設検討委員会」を設置し、位置、規模、財源、年次等の基本構想を検討、決定頂きました。

行政のシンボルの建設、半世紀一回の事業と莫大な経費を要することから、広く町民にお知らせし、理解を頂くための説明責任が必要と、町広報紙による周知や全公民館「町政座談会」を開きました。

町議会でも議論の上、予算を議決。最も留意したのは、庁舎建設によって通常の事務事業に支障を及ぼさないよう財源確保を図ることでした。幸いに積立を計画的に行うことができました。ともに、合併特例交付金と元利償還金の7割を賄う合併特例債を活用しました。建設費も競争入札で当初計画より4億円以上安価となり、又2か月早く完成の見通しとなりました。消費税や建設資材、労務単価が上がり、ない時期に完成し、グッドタイミングだったと考えます。

2月3日引渡しを受け、その後3週末を利用して全て移転を完了、仮開庁を行うことにしています。引き続き、旧庁舎の解体撤去、駐車場整備後、10月頃本開庁の計画です。

さつま町よかところファイル No.27

二渡新田 (ふたわたりしんでん)



二渡新田(二渡地区)の開発区(須杭地区)の開発区を経て大山口川に注いで、再び西ノ井手となって須杭を経て旧東郷町南瀬まで続いています(現在は須杭まで)。距離にして約6km、その間の隧道(トンネル)は10か所以上延べ1.8kmあり、途中明かり窓を開け、そこから掘削した岩くずを取り出していました。大変な難工事、なかなか作業人が集まらず、後には日暮の工事現場に小屋をたて、掘り出した岩石1升に米1升を支払っていました。この難工事の末、灌漑水田約60haが潤いました。

その流れは、280年以上経った今でも変わらず地域住民の生活を見守っています。



5月から6月には、ホタルも乱舞する二渡新田

健康増進課 保険係
清水 淳
健康保険に関する仕事をしています。

おおの しおん
大野 詩音 さん

柊野小学校 6年



漫画家を目指して

ぼくの将来の夢は、漫画家になることです。ぼくは絵を描くことが大好きです。それに、みんなから「絵を描くのが得意だね」と言われるととてもうれしい気持ちになります。ただ、漫画は絵とちがって、ストーリーがとても重要です。ぼくは、まだおもしろいストーリーが思いつきません。絵を描く力もまだまだです。これから、たくさん漫画を描いたり、漫画の勉強をしたりして、将来どの漫画にも負けない、だれもが知っているような漫画を描きたいです。



竹紙を使用しています
 (竹パルプ 10%配合)

休日在宅医

1 月

- 12日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326
- 13日 溝口整形外科 ☎52-4668
- 19日 海江田医院 ☎53-0006
- 26日 益寺医院 ☎57-0010

2 月

- 2日 宮之城病院 ☎53-0180
- 9日 薩摩郡医師会病院 ☎53-0326
- 11日 林田内科 ☎53-1177
- 16日 立志病院 ☎55-9119

休日薬局

1 月

- 12日 青空薬局 ☎52-0101
- 13日 きりん薬局 ☎52-2033
- 19日 ぎんざ薬局求名店 ☎31-6500
- 26日 タバタ薬局 ☎21-3344

2 月

- 2日 やまだ薬局 ☎52-4585
- 9日 青空薬局 ☎52-0101
- 11日 ウチ薬局 ☎53-0063
- 16日 フタヤ薬局 ☎59-2033

わたしたちの町

推計人口による

人口 23,000人 (- 22人)
 男 10,635人 (- 2人)
 女 12,365人 (- 20人)
 世帯数 9,753世帯

転入 45人 転出 44人
 出生 9人 死亡 32人

(平成25年12月1日現在)

()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。